

# 2026年2月20日 第3542回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 山下 会長

<斉 唱> 「我等の生業」

<ゲスト紹介> \*元防衛省 陸上自衛隊所属

気象予報士・防災士 都 築 信 明 様

\*メルキュールホテル横須賀 総支配人 吉住 尚人 様

<前田GNより> \*2027-08年度地区大会実行委員長決定のお知らせ等について

<会長報告> \*第1グループ会長・幹事会 報告

\*ガバナー事務所より

・国際ロータリー第2780地区ローターアクト第37回地区大会開催のご案内について

日時：4月18日(土) 集合場所：JR相模線 橋本駅南口ロータリー

11:30~12:00集合・受付 12:00バス発車

12:30~各種プログラム(貸切バスツアー)

17:30 式典開始(相模原市産業会館)

18:30 大懇親会(けやき会館)

・第38回全国ローターアクト大会ならびに付随プログラムのご案内について

日時：4月25日(土)・26日(日)

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター(オリンピックセンター)

・決議審議会立法案(決議案)提出の依頼について

・2026-27年度地区役員・委員会委員(正副委員長含む)

ご就任委嘱の件について(追加)

敬称略

地区危機管理運営委員会	副委員長	高橋 隆一
地区ラーニング委員会	副委員長	岡田 英城

<委員長報告> \*

<幹事報告> \*ガバナー月信NO.8

\*例会終了後 第8回理事役員会 開催

<出席報告> \*出席委員会 加賀本副委員長から2月20日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
113名	103名	66名(3名)	37名	2名	66.02%

メイクアップ：小保内会員 地区委員会出席、鷲尾会員 理事役員会出席

<ニコニコ報告>

・三 役 元防衛省陸上自衛隊所属 気象予報士・防災士 都築信明様、ようこそ故郷 横須賀へ。本日の卓話どうぞ宜しくお願いいたします。

・八 巻、井上、北村、長尾、江沢、植田、八木、杉浦、前田、佐久間、新倉、田邊、徳永、江口、高橋、小山、齋藤、波島、角井、吉田、藤村、澤田、三堀、小佐野、権田、加賀本、杵渕 各会員

本日は元防衛省 陸上自衛隊所属 気象予報士・防災士 都築信明様による卓話です。

とても大切な話になると思います。よろしく宜しくお願いいたします。

・井上 会員 入会月祝いとして

・2番テーブル若麻績マスター、木村サブマスター 2月9日(月)、2番テーブルミーティングを甲羅本店にて開催いたしました。お忙しいところ山下会長にもご参加頂き、美味しいお酒、カニ料理で有意義な時間を過ごすことが出来ました。参加して頂いたメンバー、小澤会員お世話になりました。

- ・小澤、鹿島、小佐野、小林(-)、柴田、杉浦、野坂 各会員  
2月9日(月)、2番テーブルミーティングを甲羅本店にて開催いたしました。美味しい料理とお酒で大変盛り上がりました。小澤会員大きなカニありがとうございました。若麻績マスター、木村サブマスターお世話になりました。
- ・5番テーブル飯塚マスター、兼城サブマスター 昨日5番テーブルミーティングを「はま蔵」にて開催しました。山下会長、鈴木幹事、三宅さんにもご参加いただき美味しい食事とお酒、尽きない会話で盛り上がりました。松本会員にも大変お世話になり有難うございました。
- ・大野 健、曾 我、田 中、松本 剛 各会員 2月9日(月)、5番テーブルミーティングを魚がし食堂はま蔵にて開催いたしました。美味しいお酒と料理で楽しいテーブルミーティングでした。飯塚マスター、山形の銘酒の差入れ有難うございました。兼城サブマスター、色々とお手配いただき有難うございました。松本会員、美味しいお料理の数々ご馳走様でした。
- ・荻 山、加藤 健、真 野、徳 永、高橋 健、小山 健、齋藤 健、川 名、加賀本、根 岸 各会員  
ミラノ・コルディナ2026冬季オリンピック、チームジャパンが大活躍で過去、最多メダル数という大快挙です。様々な競技の感動・涙をありがとう。残り2日間がんばれ!
- ・石 田、梶 木、松 川、齋藤 健、池 田、石 川 各会員  
世界中で愛される絵本「はらぺこあおむし」の日本語版50周年を記念して「エリック・カール展・はじまりははらぺこあおむし」が東京都現代美術館で4月25日から開催されます。「パパ、お月さまとって」など懐かしい絵本の原画がみれるそうです。まだ先になりますが、一度ご覧になったらいかがでしょうか。
- ・江 沢 会員 トライアングル鈴木隆裕会員、県優良産業県知事表彰おめでとうございます。

## <卓 話>

## 「横須賀の地形気象特性と災害への準備」

元防衛省 陸上自衛隊所属

気象予報士・防災士 都 築 信 明 様

改めまして、都築でございます。よろしくお願いたします。陸上自衛隊を定年した後、渋谷区役所の防災課に5年間勤めました。その任期も切れましたが、残ってくれということで、そのまま会計年度任用職員として残っています。昨年、35年ぶりに横須賀に戻ってきて、同級生の山下会長と再会し、卓話をする事になりました。私は全国津々浦々、2年おきぐらいに転勤をし、外からみた横須賀の短所長所や、地形と気象と災害についてお話ができればと思います。なんで「三浦」というか、それは東に東京湾、西に相模湾、南に太平洋の3つの浦々があるからだといわれています。では「横須賀」とは何か。「スカ」というのは、海流や川の流れが作り出す、いわゆる砂浜・砂丘のこと。それが横に広がっているから横須賀。横浜も同じ意味です。今は埋め立てられていますが、まさに海から見ると、北の方からずっと浜があり、それが語源だそうです。まず、地形と気象です。気象というと上ばかり見てしまいがちですが、気象を読むのであれば地形、下を見なくてはなりません。なぜならば、山一つ、川一つで気象というのは変わってきます。上空の方には偏西風が吹いていて、高気圧、低気圧が交互に上空を通り過ぎ、雨になったり、晴れになったりします。横須賀から西に目を転じると、3000メートル級の山の南アルプスと中央アルプス、その次に、1300~1500メ



一トール級の伊豆半山地、丹沢山地、箱根山地、秩父山地につながります。それと200メートルぐらいの多摩丘陵。これが盾になってくれて大災害を防いでくれているということをご存知でしょうか？我々は、もっと山に感謝しなくちゃいけないと思っています。西から来た低気圧が南アルプスにぶつかって西側斜面で雨を降らせ、空になった状態で上から来る。駿河湾から海面スレスレで湿った空気が来ると、箱根の山で雨を降らせません。あのカルデラの中で降った雨は芦ノ湖に溜まるわけで、貴重な水源になっています。誰かが芦ノ湖まで水を運んだわけではありません。相模湾からの水分含んだ風も、横須賀・横浜の西側でブロックの壁となっています。さすが徳川家康です。江戸の地域に都を定めています。奈良の時代も京都の時代もやはり、気象というのはとても大事で、安定したところでないと都は築けません。三浦半島はちょうど伊豆半島と房総半島に挟まれるようにあります。西からの天気、東からの台風の雲行き、これらをブロックして減衰して三浦半島の方にやってくるということです。伊豆半島は動いていることをご存知でしょうか。年間2～3センチです。100年で300センチ、3メートル動いている。これがぶつかってきているわけです。そこで地形の皺ができる。これが1万年経つと30キロ、10万年経つと300キロ、大体名古屋まで動いてくる距離になります。1億年経つと硫黄島がその辺に見える。それぐらいフィリピン海プレートが動いている中で、関東大震災は神奈川西部が震源になりました。三浦本島の形も特徴だと思います。稜線を書き足すとそれはイコール北武断層と大楠山の断層で、三浦断層群となります。北西の方に3センチぐらい動いている、右横ずれ断層です。押してきているので褶曲といって山ができる。それが多摩丘陵です。

200メートルの山が気象を守ってくれていますが、それだけのずれがあるということは、活断層ですので、やはり、かなり震度の大きな地震を覚悟しないとイケません。それともう1つ地形のところを見ますと、北西から来るようなときの雨域は、2つの山がブロックしてくれて、大概市庁舎がある場所というのは比較的雨が少ない、すなわち京浜急行沿いになっています。逗子もそうです。三浦も城ヶ島の裏側に隠れるように市庁舎を作っています。やはり、どこの時代も一番気象上安定しているところに県庁所在地、それから官地を置いています。最近、非常に海水温が高くなっています。2025年12月下旬10日間の平均海水温を見ると、だいたい18度ぐらいが関東を覆っています。過去30年の12月下旬はどうだったかという、平均より大概2、3度ぐらい気温が高くなっていて、すなわち夏が暑く、春先から湿度が高く雨が多いということが起こっています。これからこういうことにも注意する必要があります。日本近海の海面温度は上がり基調で、100年前よりも大体1度ぐらい上がっていますが、最近では2度近く、マイナス1度からプラス1度まで上がってきています。すなわち平均気温が上がってくるということです。四周を海に囲まれた日本で、特に三浦半島は3方囲まれているので、大変注意していく必要があります。以上を踏まえて夏の特徴と、秋に要注意です。夏の海面温度と気温の時系列の変化を見ると、内陸の温度は、朝方、夜中というのは海水温よりも低いです。日中9時以降になると30度、40度と気温が高くなります。内陸で高くなって海の温度が変わらなると、上昇気流が内陸に起き、それを補填するように海風が入ってきます。内陸の方に湿った空気が入り込むと、雷やゲリラ豪雨が起きやすいということになります。続いて、秋は台風にご注意いただきたいです。止まった台風というのは左右均等で、同じ距離で秒速20メートルの風が吹くとしめます。動き出すと、例えば時速40キロですと秒速11メートルですから、右半円の部分はベクトルの合計になります。すなわち、20メートルの風に台風が動いて、11メートル分足され31メートルになる。左側については逆に引き算になり、20から11引いて大体9メートルの風になるということです。ですから台風の進路の右側に入ったときは、よく注意していただきたいと思います。これは横須賀にとって非常に弱点です。なぜかという、地形障害がない南から来た場合、伊豆半島あたりを中心が通って右側の方に横須賀が入るパターンは非常に危険です。通常は、西の方から九州・四国や紀伊半島で上陸してアルプスを越えて散々西で降らして空になった状態で来てくれるのであまり問題がないですが、元気なまま右半円が横須賀に直撃する時はよく注意していただきたいと思います。四季の特性を一旦まとめますと、危ないのは海から風が吹いてくる季節。すなわち5月下旬から台風が通りつける10月11月までは気象についてよくご注意いただきたいです。それ以降、今時分というのは、基本的には北からの風で山を越えてきますので、乾燥して、山火事があつたり大変ですが、急に豪雨になったりすることはありません。ただし、非常に雪に弱いです。南岸低気圧が来たときにマイナス6度が1500メートルに入ってくると、これは翌日の朝よく注意が必要で、半日くらい様子を見て動いていただくことをお勧めします。それ以降、春になりますと、風が強いことはありますが、やはり梅雨前線が活発になるような時期、それから雷が出てくるような時期、そして台風の時期にはよく注意いただきたいと思います。まとめです。災害への準備ということで、備蓄の準備、家屋の整備。寝

ているときはご注意ください。せつかくいいところに寝ていても本棚が倒れてきて上に乗っていた日本人形のガラス張りが落ちてきたら、お医者さんいませんので。人間半分出ていますのでご注意くださいと思います。あと、家族の会議、スマホが通じるとは限りません。それと地域で訓練をやっているようであれば、皆さんでやはり力を合わせて。在宅避難が一番。それが無理ならば、親戚知人、それから遠くの旅館ホテル。行きつけがあるようだったら広域避難・分散避難もご検討いただきたいと思います。最後の最後に避難所を使うという心がけが、一番よろしいかと思います。トイレの問題ですが、災害のとき、下水が生きていればトイレは流せます。弁が水で膜を張られていて匂いがあまりしません。バケツで水を入れて流すとちゃんと流れていけば使えるということです。風呂の水を取っておき、下水が生きていれば使えるということもご承知をおきいただきたいと思います。最後になります。防災の重視というのはまず個人の備蓄からです。それと、寝床等々家が避難所になるために、家具転倒防止をやっていただきたいと思います。念のために、今確率は低いですが、初期消火、最後は避難所の運営は2の手、3の手ということを気づいていただければ、と考えております。気象と地震に関して30分で話をさせていただきました。ありがとうございました。

※内容を一部省略して記載しております。

<閉会・点鐘> 13:30 山下 会長

週報担当 井上 智史